

事業番号	事務事業名	地域自立生活支援事業費	所管課名	保健福祉課	令和 2 年度課長名	水島 剛
24192	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	介護保険係	担当者・シート作成者
	施策名	14	高齢者福祉の推進	根拠法令等	介護保険法(平成9年法律第123号) 鏡野町高齢者等給食サービス事業実施要綱(平成17年鏡野町告示第28号)	

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	栄養改善の必要な高齢者に対し配食サービスを行うことで地域の高齢者の状況を定期的に把握し、高齢者の住み慣れた地域での自立した生活を継続できるよう支援を行う。	平成18年度の法改正により地域支援事業として開始

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度
ア 65歳以上の町民	ア 65歳以上の町民人口	人	見込 実績	4,750 4,740	4,750 4,747	4,694 4,757	4,788	4,720
イ	イ		見込 実績					
ウ	ウ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度
ア 栄養改善を図る	ア 栄養改善した人数	人	目標 実績 達成率	70 129 184.3%	70 70 100.0%	70 95 135.7%	95 95	100 95.0%
イ	イ 配食数	食	目標 実績 達成率	8,000 6,988 87.4%	8,000 6,971 87.1%	8,000 10,605 132.6%	9,000	9,000 117.8%
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度
ア 申請受付、決定事務	ア 受付・決定件数	件	目標 実績 達成率	21 21 100.0%	21 21 100.0%	21 51 242.9%	50	50 102.0%
イ 委託料の支払い	イ 支払回数	回	目標 実績 達成率	60 60 100.0%	60 60 100.0%	60 49 81.7%	60	60 81.7%
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 24		款 05		項 02		目 05		大事業 中事業					事業番号			
	介護保険特別会計(保険事業助定)		地域支援事業費		包括的支援事業・任意事業費		任意事業費		05 01 地域自立生活支援事業費								
予算(千円)	30年度実績	1年度実績	2年度実績	3年度見込	4年度見込	前年比	決算(千円)	30年度実績	1年度実績	2年度実績	3年度見込	4年度見込	前年比				
国庫支出金	1,825	2,753	2,102	2,227	2,361	-651	国庫支出金	1,736	1,721	1,670	2,227	2,361	-51				
県支出金	913	1,376	1,051	1,113	1,180	-325	県支出金	868	860	835	1,113	1,180	-26				
町債							町債										
その他特財	913	1,376	1,051	1,113	1,180	-325	その他特財	868	860	835	1,113	1,180	-26				
一般財源	1,030	1,645	1,256	1,310	1,403	-389	一般財源	979	1,028	997	1,310	1,403	-31				
合計	4,680	7,150	5,460	5,763	6,124	-1,690	合計(A)	4,451	4,470	4,337	5,763	6,124	-133				
財源名称	国・県:地域支援事業交付金(包括的支援事業任意事業)						従事正職員人数	1	1	1	1	1					
	地域支援事業繰入金(包括的支援事業・任意事業)						延べ業務事務時間	12	12	12	12	12					
	地域支援事業利用料						人件費計(千円)(B)	41	42	40	40	40	-2				
	最終予算額		5,460 千円		予算執行率		79.4%		トータルコスト(A+B)		4,492	4,512	4,377	5,804	6,165	-135	
主な支出事業内容(予算)	委託料(物)						5,460 千円		主な支出事業内容(決算)	委託料(物)						4,337 千円	

事業番号	24192	事務事業名	地域自立生活支援事業費	所管課名	保健福祉課
------	-------	-------	-------------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
高齢者の独居や老々世帯の増加など、利用者は増加傾向にある。
②この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
配食サービスだけでなく安否確認等も行うようにし、新規事業所も開拓した。
③この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
栄養状態の向上等で役に立っている。利用できる事業所が限られていて、利用しづらいとの意見がある。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 説明	栄養改善が必要な高齢者(二次予防事業対象者を除く。)に対し、配食の支援を活用し、高齢者の状況を定期的に把握するとともに、必要に応じ、地域包括支援センター等に報告する事業であり、高齢者福祉の推進に結びついている。
	②町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由 説明	介護保険法に規定されている地域支援事業の任意事業であり、町が保険者として高齢者福祉の推進のために実施するものである。	
③対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)			
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 説明	介護保険法に規定されている地域支援事業であり、対象と意図を見直す余地はなく、妥当である。	
有効性 評価	④成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)		
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由 説明	利用者の栄養状態は改善されているので、目標水準に達している。
	⑤廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)		
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由 説明	廃止した場合、栄養状態の悪化などで、要介護状態の高齢者の増加が見込まれる。	
⑥方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)			
<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	理由 説明	配食サービスを行っている事業所が社協を含めて6事業所しかなく事業所ごとにカバーできる地域が限られているため、利用者にとって選択肢が無く口に合わない場合、サービスの利用が出来なくなる。	
効率性 評価	⑦事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	事業費は最小限のものであり削減の余地はない。
⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)			
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	最小限の人件費にて実施しており、削減余地はない。	
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 説明	利用者には地域支援事業利用料(1食:400円)の負担をお願いしているため、公平・公正である。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

①上記の評価結果		②全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	目的妥当性・有効性・効率性・公平性、すべて適切である。																							
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	今後の改革改善案		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
⑤改革改善案を実施する上で解決すべき課題																									

(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)